

## 会 議 録

全部記録 要点記録

<b>1 会議名</b>	姫路市総合計画策定審議会 第2分科会 第3回会議
<b>2 開催日時</b>	令和元年11月8日(金曜日) 10時00分～12時25分
<b>3 開催場所</b>	姫路市役所 本庁舎10階 第2会議室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	姫路市総合計画策定審議会委員 第1分科会 委員 13人中 10人(1人欠席、2人代理) 姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 1人
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可(5人) 傍聴人(0人)
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	1. 開会 2. 事務局説明 3. 審議 4. その他 5. 閉会
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

事務局	1 開会 (10:00)
分科会会長	2 事務局説明 ・「当日資料1 新総合計画における地方創生の考え方について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	[説明資料] 当日資料1 新総合計画における地方創生の考え方について ・地方創生については、一つの分野に位置付けるのではなく、9つの政策分野に対して横断的に取り組むということである。
分科会会長	・今のご説明について、ご意見、ご質問等があればお願いします。 ・基本は、今のご説明を踏まえて我々が検討していければいいということなので、今のご説明のことも配慮しながら、今後審議を進めていきたい。 ・続いて、「当日資料2 第2分科会第2回会議 意見一覧」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	[説明資料] 当日資料2 第2分科会第2回会議 意見一覧
分科会会長	・意見に対する対応案について、ご意見、ご質問等をお願いします。
分科会副会長	・3ページの環境分野で申し上げたことは、意見一覧に書いてある通りだが、発言の趣旨としては、ほかの分科会でも申し上げたが、それぞれの政策目標が、今の市役所の組織、各部局が前提となって取り組みをしていく上での指針の集合体として出されているので、わかりにくい。総合計画だから、いろいろな課題に向けて部局を越えた取り組みという形の政策目標があるべきで、それぞれの部局で取り組まれることは個別計画で示されればよい。この政策1、2がわかりにくいので、具体的にどういう形でどの部局が取り組むのかに落とす前に、例えばCO2削減などに取り組むということからすると、本来は一つでよいという趣旨で申し上げた。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別計画も含めて、各部局の壁があつて、漏れている部分がないように、事務局で横ぐしを刺して見ていただければという趣旨である。</li> <li>・そここのところは事務局で確認して進めていくようにする。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他にご意見、ご質問等はあるか。</li> <li>・今日の議論では、政策の方向性ということが出てくると思う。前回の最後に、特に意見が集中しているところは膨らませるとか、いろいろ並べた上で、特にこれが大事だと示されたらよいと申し上げたが、そこはとりあえず全部併記するような形にするのか、それともその中でこれが大事だという形にするのか、どういう感じになるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位をつけることはないが、重みという部分では、やはり重点を置くところとそうでないところ、あるいは時間的な問題で、長期の視点で見ると短期で取り組まないといけないものがある。そのようなところでめり張りをつけてまとめていきたいと考えている。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的なものが出てきたときに、そこを確認できればと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の全体会議で、中間報告という形で現時点の全体をまとめたものにして考えているので、それを読んでいただいた上でご意見をいただきたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分科会として、こういうところに特に委員のご関心があつたというのが少し出てもよいような気がしたので、そのことを申し上げた。</li> </ul>
分科会会長	<p>3 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、産業分野のうち商工業関係と観光・スポーツ分野について審議する予定になっているが、都合により観光・スポーツ分野から先に審議をしたい。</li> <li>・それでは、観光・スポーツ分野について、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>

事務局	<p>[説明資料] 資料4、資料4-1、資料4-2 観光・スポーツ分野</p>
分科会会長	<p>・それでは、資料4、10ページの左下に分野目標と説明文があるが、まずそちらについてご意見、ご質問等をお願いします。内容、文章表現、言葉遣いについてでも構わない。</p>
委員	<p>・姫路城に観光に来る方のリピーター率はわからないか。1回来たら終わりではないと思うが、それを調べたことはあるか。</p>
事務局	<p>・後ほど調べて答える。</p>
委員	<p>・どんどん増えているのはありがたいが、結局どこかで頭打ちになる。体験型などいろいろ考えていただいているが、リピーター率を調べていただけたらと思う。</p>
委員	<p>・スポーツに関しての分野目標について教えていただきたい。現計画でスポーツは、教育・福祉の観点で生涯スポーツの実現という形で含まれている。今回、観光・スポーツという分野で考えられる中で、委員もいらっしゃるように、プロスポーツ、トップスポーツが浸透していく中で、分野目標2の「市民が様々な形でスポーツに参加し」という形で市民主体ももちろん大切。ただ、プロスポーツといった観点では、最後のほうに「まちの新たな魅力の創出」という形で含まれていると言われればそれまでだが、どこまで打ち出すか、そのあたりのバランスが大事である。前回は市民スポーツがメインで、今回は市民スポーツの観点とスポーツ振興の観点の両方が含まれた話だと思うので、そのあたりのバランスを含めて表現を工夫していくべきと思うが、お考えを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>・現計画は地域スポーツ、生涯スポーツに力点を置いた計画になっているが、新計画のほうでは、それにプラスして、スポーツというものを一つの資源というか、まちの魅力として捉えるという新たな視点を加えたものに</p>

委員	<p>していこうと考えている。分野目標のところになかなか書き込みにくいところもあるので、目指す姿の中でその辺も意識した形で表現している。</p> <p>・言われることはよくわかるが、やはり分野目標として、スポーツを観光・経済資源として考える、ということ、現計画では深く触れていなかったことを新計画では触れようとしている中で、もう少し表現とか、何かいい考えがあれば、検討いただきたい。</p>
事務局	<p>・委員の言われるように、「まちの新たな魅力の創出」というのは、まさにその部分ではあるが、これだけでは読み取りにくいというご指摘かと思うので、できれば何か考えたい。</p>
分科会副会長	<p>・それに関連して、市民が健康で長生きして云々という活動をここで書いているが、分野目標と後ろに書いている中身が一致していないような気がする。</p> <p>・基本は、産業としてスポーツツーリズムを考えていくとすれば、実際に経済波及効果が一番大きいのはマラソンである。前日の宿泊を含めて、食事もあるし、家族や友達も応援に来る。観光のほうは通過型観光なので、あまり金が落ちない。現状、残念ながらそういう状況なので、観光もスポーツも産業として捉えるという観点からすると、2番は前半をさらっと書いて後半を重たくしたほうが、枠の中の趣旨に合うと思う。分野別目標と後ろが必ずしも一致していないような気がする。</p> <p>・もう一つ、今回の文章は、観光を産業として捉えるという分析があるのはよいと思うが、「観光交流都市にふさわしい『おもてなし』」というのは何を指しているのか、わかりにくい。観光産業として捉えれば、関係人口、交流人口が増えてお金が落ちるので、みんなで一生懸命やろうという部分があるが、単に「おもてなし」の心を持つとういうのはなかなか難しい。観光やスポーツを産業として捉えて、外国人にお金を落としてもらうのが国の方針でもあるという意味では、やはり観光とスポーツを産業として育てていくという考え方を色濃く出すべき。単純に市民に「おもてなし」の心を持つと言われても、しんどいと思う。</p>

事務局（観光振興課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの来訪回数の件であるが、姫路市では、観光動向調査を毎年実施している。来訪回数については、姫路城に来られた925人にアンケートをとり、初めての方が475名、49.4%で約5割、2回目が194人で21%、3回目が80人で8.6%、4回以上が194人で21%となっている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもてなし」の話とリピート率は関連があると思う。観光客が姫路に来て、また訪れたいと思うまちを目指すという意味では、いろいろな「おもてなし」が必要である。委員の言われたように、市民ができる「おもてなし」はなかなか難しいが、この総合計画は姫路市行政だけがすることではなくて、市民も含め、企業、団体、みんなで協働していく中で、市民でできる範囲の「おもてなし」である。単純なことで、道を聞かれたら親切に教えてあげるとか、おいしい店を紹介するとかでもいいと思う。</li> <li>・行政ができることとしては、先ほど紹介した観光案内所の設置を初め、例えば姫路駅周辺やお城の周りでは今、Wi-Fiが使えるようになっているので、それを駅前の商店街の中でも使える形で整備をしたり、そのようなハード面の整備は行政が中心となってやっていく。それぞれができる「おもてなし」をすることによって、リピート率を高めていくのが大事と考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月4日に子どもたち10人とお城に行き、「英語でインタビュー」というイベントをした。56グループ、22カ国の方々と直接お話をし、滞在日数、出身地、好きな和食、好きな場所、日本で買ったものなどを子どもたちが英語で聞いて、答えていただいた。</li> <li>・一緒について回る中で気づいたが、海外の方の旅の長さは2週間から3週間と大変長い。好きな場所は、4年前に初めてインタビューしたときは東京、京都だったが、今回は鎌倉、高山、直島、長崎、日光、箱根などと幅が広がっていた。好きな和食も、前はすしが圧倒的だったが、今回はラーメン、たこ焼きなど身近な食事を皆さんされて、日本への理解が深まっていると思った。長い滞在時間なので、地方の姫路にもたくさん来ていただける可能性があると感じた。</li> <li>・たくさんの方が「好きな場所」に姫路城を挙げていただいたが、ヨーロ</li> </ul>

	<p>ツバの方からすると、歴史的、スペース的に見劣りがするという意見もあった。きらきらしたお宝がなくて、がっかりしたようだが、そこは文化の違いで、日本はこういうものだとわかっていただけるようなことができればよい。音声ガイドでシンプルな日本の美をわかっていただくとか、前にあった甲冑などを見ていただいたらいいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちも外国の人と話をして、「おもてなし」の心を持つことができたと思うので、こういう活動を広めて、市のほうでも運営していただければと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10ページは背景を書いていると思うが、スポーツ関連の「平均寿命の延伸に伴う関心の高まり」というのと、後の話は趣旨が違うのではないかと。最初のところはスポーツなどをして健康寿命が延びたという流れの中で、後のワールドカップを初めいろいろなイベントがあるということにつなげているが、健康寿命が延びて関心が高まったからビッグスポーツの機運が高まっているというのは飛躍があるような気がする。むしろ2番目の丸のところに行くのではないかと。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤解がないように修正する。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの「おもてなし」の話だが、親切な心や受け入れの気持ちが重要なのは十分認識している。ただ、先ほどのリピーターのヒアリングを含めてだが、我々もほかのところへ行くと、市民との交流はそんなにない。ただ、そういうときに、食べ物であったりお土産であったり、姫路に行けばこんなものがあるとか、こんな食べ物があるというのも含めた総合的な「おもてなし」だと思う。</li> <li>・私が先ほど言ったのは、姫路の場合、受け入れ態勢としてWi-Fiなどのインフラ整備も必要だけれども、姫路へ行って、お城を見ただけ。帰りにお土産がないとか食べる場所があまりなかったとか。先ほどのラーメンでもいいが、観光客向けの「おもてなし」の施設があまりない。ここに書いている「おもてなし」が、そこも含めて今後充実を図っていくという形であればいいが、ただ、市民の「おもてなし」の心だけを言われても、それ</li> </ul>

	<p>はなかなか難しい。我々が観光で行ったときに何に感激するかということだと思う。</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト、ハードを含めた「おもてなし」の体制を整えるべきという意見と受けとめた。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路は今のままでは通過型だから、お土産もなかなかない。食べるところも、観光客向けにはぼつぼつできているが、そんなでない。姫路の魅力をこれから育てていくために、そのような取り組みを今後4年間でやっていく必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう戦略的な取り組みをやっていくのかというところまで考えないといけない。産業として、税金を含め地域の活力にしていくという意図であるのであれば、そのためにどうあるべきかを議論しておかなければならない。姫路でなくても、どこの都市でも同じように議論していることだと思う。姫路だからこそどうするのかというところを持っておくべきではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路の特色を出した取り組みを総合計画の中にも示していければと考えている。個別のものは、分野別の計画などで具体の取り組みをまとめることになっているが、方向性はこの総合計画の中ではっきり示していきたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この後、政策案や目指す姿について議論するが、今、皆さんから出たご意見は、そちらともつながる話だと思うので、同じような具体的な話に関してご意見、ご質問があれば、そちらのほうで伺えればと思う。</li> <li>・次に、12ページの資料4-2、観光・スポーツ分野の政策2「スポーツを通じた活気あふれる地域社会の実現」について、まず、政策案及び目指す姿の内容などに関して、ご意見があればよろしく願います。</li> <li>・時間の関係もあるので、右下にある「目指す姿を実現するための方向性」についても、あわせて全体としてご意見、ご質問があれば出していただきたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、1のところに「スポーツを通じて、子どもの健全育成が図られる」とある。私も同感であるし、小さいころからスポーツをしている人たちが大人になる過程で、体力や精神力が鍛えられると思っている。</li> <li>・競技種目の多様化に対応したスポーツ環境を充実させるということで、手柄山に整備計画があるが、具体的な案はあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、計画策定中で、所管課のほうで検討している段階である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館が完成しても、失敗したという話をよく聞く。日本の場合、体育館はスポーツをするほうがメインで、アリーナはみるほうがメインになる。アメリカに行くと、みるほうがメインになる。予算もあるだろうが、いろいろ視察に行かれて検討されるとよいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを育てるには、やはり小さいときからプロスポーツを見るのも大切と思う。何千人が入る体育館があって、その中で一流のプロの選手を見て、では私もやってみようという動機づけになる。</li> <li>・もう一つは、学校でのクラブ活動が減っている。いろいろ多様化しているが、人数が減っていることもあり、チーム系のものが特に減っている。そこを整理していくのも大切。手柄山の文化センターの跡地を使って、武道館のような大きなものをつくればどうか。その横には手柄山の市民プールがあるので、そこにしっかりとした、世界的規模でいろいろな構想ができるような、それこそオリンピックが招致できるような体育館があってもいい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう一つ、今、ママさんバレーの人口が非常に多く、その中でも姫路、たつのなど、播磨地域は日本で一番多い。今日は女性の方が少ないが、大変熱があつて、人口も多くて、ママさんバレーを姫路、播磨という地域でより一層活性化されれば地域とうまく密着するのではないか。</li> </ul>
委員	<p>そのとおりで、広島東洋カープのように市民のチームになっていかない</p>

	<p>といけない。今、ヴィクトリーナがその形に一番近い。</p> <p>あるいは、東京で皇居の周りを走るように、姫路城の周りをもっと整備して走りやすい環境をつくるのもいいと思う。南の浜手にはそういった環境が少ないし、自宅の近くのグリーンベルトの整備も全然進んでいない。緑は環境のためにいいと思うが、そこで子どもを連れてスポーツをやっている姿を見たことがないし、環境も含めて考えて、木を切ってしまうのではなく、それを生かしながら何かできないか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンベルトのところに野球場やテニスコートが整備されているところもある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数少ない女性委員として発言する。ママさんバレーをしている。県大会や西播大会、地域の大会があるが、ママさんには仕事や子育ての関係で土日しか動けない方が多い。そういう時期はほかの大会と重なるので、まず駐車場がない。みんなで乗り合わせて行くこともある。</li> <li>・また、体育館によっては着がえるところがない。トイレに入って、こそこそ着がえたりしている。</li> <li>・体育館を整備するのであれば、やはり行きやすい、参加しやすいというのがまず必要だと思う。規模は大きくなくてもいい、オリンピックが来なくてもいい。ただ、日々家事に追われながらも、スポーツ、趣味ができる場所を確保するのが、多分地域活性化だと私は思う。</li> <li>・キャプテンをやっていて、メンバーが14人いる。大変である。オーナーはもっと大変と思う。その中で、小さなコミュニティをやっているところから手がけていただくと、一市民としてうれしい。ヴィクトリーナの試合も見に行くが、そのときも駐車場がない。</li> <li>・あと、お手洗いが少なく、並ばないといけない。女性は特にそのような場所の充実を望む。また、子どもを連れていくと倍以上時間がかかる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに交通網は必要だ。車ばかりではなく、駅から歩いて10分というような利便性、そういうところをしっかりとやるのは大切である。今、学校の施設は貸してくれないのか。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸してくれるところはある。ただ、やはり学校行事があるので。また、マナーが悪ければ使わせないと言われるところもある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊べるスペースもこれから必要と思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズスペースのような施設ということか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。女子バレーの選手も、子どもを産んで復帰することがある。これからママさんの現役選手もたくさん出てくると思う。そういったときに、姫路に来れば安心して子どもを預けられるところがあると、より一層いいアリーナができると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーのクラブチームをどう成功させるかは、すごく大事な取り組みだと思う。それをどう成功させるかで、波及効果がいろいろある。単なるスポーツでなく、産業として位置付けるのであれば、誇れるようなアリーナをどうつくるのか。ナンバーワンのものがないといけない。ラグビーもそうだが、日本が活躍していなければこれほど盛り上がりなかったと思う。どうやってみんなで応援していくチームにしていくかは非常に大事だと思うし、そのために行政として何ができるかという問いは重要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会の役員等から意見を聞いてきた。その話をさせていただく。</li> <li>・地域スポーツの指導者がいないのは、選手がいらないからである。今、特に小学生が学校で運動をする機会がほとんどない。なぜなら「早く帰りなさい」と言われる。どこでするかというバレーボール教室だとかスイミングスクールとかで塾と一緒にいる。学校にスポーツの好きな先生がいて、駆けっこしたりバレーボールしたりソフトボールをしたりという昔の姿がない。</li> <li>・「スポーツクラブ21」という県の組織がある。この前、その会長さんたちと話したが、校区ごとにばらばらで、種目や参加人数も違う。学校に残って体を動かさない子たちが塾へ行くような感覚でそこへ入って、地域の</li> </ul>

<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>おっちゃん、おばちゃんとテニスをしたり、卓球をしたりは可能なのかと聞くと、それはできると言う。ただ、それは誰が音頭をとってやるのか。ここにたくさん地域スポーツが出ているが、中心的な役割は誰がするのか、あるいは誰が誰に依頼するのかを考えていただきたい。でないと、習い事というかお稽古事で、費用と時間がかかる。余裕のある者しかスポーツができないのが現状である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それから、今、体育館の話が出た。障害者スポーツの方と話をしたが、車椅子で行くだけで、邪魔者にされる。もちろんそこでスポーツをするなどできない。施設を管理する側に聞くと「床が傷だらけになる」と言う。双方に言い分がある。では、それに耐え得るようなアリーナ、体育館があるのか。先ほど言われたように施設ができ上がってから失敗に気づくのでは遅い。障害者スポーツの話が全く出てきていないので、ぜひそれは入れていただきたい。</li> <li>・それから、産業や観光を考えた場合に、ここに1文字だけ出ているeスポーツについて。実はことしの茨城国体で公開競技で初めてeスポーツを行った。設営は大変だったようだが、非常に盛り上がった。あれはゲーム会社のスポンサーがつく。姫路でもプロとはいかなくても、給料と同じぐらい稼ぐ人もいる。ただ、みんなが狙っているから今から着手するのでは遅いかも知れない。施設が要るが、財源は入る。私は、個人的にはeスポーツはスポーツと言うべきでないと思う。あれをスポーツと呼ぶと囲碁も将棋もみんなスポーツになる。ただ、産業として観光・スポーツを考えた場合、eスポーツは1つの目玉商品になる可能性がある。</li> <li>・車椅子用の体育館のことは、ご存じと思うが、花北に「ルネス花北」という障害者の体育館があり、そこは車椅子の方が活動できるように、入り口も広く取っているし、トイレも整備している。床面も大丈夫である。市内全部の体育館でできるかといえばご指摘のとおりそうではないと思う。</li> <li>・eスポーツについては詳しくないが、産業としては確かに考えられる。</li> <li>・お金は動くと思う。</li> </ul>
----------------------	---

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツかどうかの議論はさておき、イベントの取り組みとしては非常に関心の高いものだし、そこから広がるものもあるかもしれない。ただ、実際にやっていくかどうかは、機会があればということかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう1点、世界遺産姫路城マラソンの件のことで、私は姫路市陸上競技会の会長と兵庫陸上競技協会の副会長をしているが、いろんところで「なぜ参加人数を1万人にしないのか。1万人にするとスポンサーが変わる」と言われる。簡単にいえば全国区になっていない。観光面も考え、選手たちがたくさん来るように、ぜひご理解をいただいてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設が間に合わないことはないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車で来ればよい。場所は駅を降りて、お城を目指してくればよいから、こんな便利などころはない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊のケアはやはり大切だと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山マラソンの参加者は1万人ぐらいである。篠山はまちが小さいが、神戸や京都からバスが出て、送り迎えをしている。篠山市の人は泊まることは想定していない。姫路は電車の便がいいから大丈夫と思うが、工夫する余地がある。</li> </ul>
事務局(スポーツ推進室長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンについては、現在5回終了して、非常に順調に進み、全国の方に好評をいただいて、現在7,000名の参加がある。来年2月に第6回を開催するが、それにも3倍程度の応募があつて抽選を終えたところである。私どもとして最終的には1万人を目指しているし、とりあえず8,000人と、1,000人増を現在検討している。ただ、ほかのところではマラソン人口の減も見えているので、新たな魅力の発信づくりのマラソンという形で事務局としては考えていきたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツだけで1つ独立させてもよいぐらいいろいろ意見が出てくると</li> </ul>

	<p>思うが、今回は観光・スポーツが1つになっている。時間の関係もあり、あと11ページの資料4-1の先ほど目標のところでご意見を幾つかいただいたが、観光のほうで政策や目指す姿等でご意見、ご質問等があればよろしく願います。いかがか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化都市姫路をイメージすれば、海外の方々が来られたときに、先ほどeスポーツの話が出たが、アニメが今、日本のすごい文化だと叫ばれて、新しい文化になっている。eスポーツもそうかもわからないが、それも一つ考えてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しろまるひめ」は、ゆるキャラグランプリ、ゆるキャラの投票に出ているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しろまるひめ」は、昔は出ていたと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆるキャラも少し下火になってきた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメの話では、ご存じと思うが、手柄山がコスプレの聖地っぽくなっていると聞いている。昔の博覧会の北側に跡が残っていると思うが、そこで撮影されたり、あとは手柄山の全体のイベントでもそういうブースを設けたりしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスプレをして、皆さんご自身の世界でいろんなことをやっている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスプレとかでいうとイギリス、フランスとかロシアとかからいらっしゃるが、うちのホテルだけで言うと、2018年度から比べると全体的に6.1%ぐらい客数が上がっている。ウェールズと姉妹提携をしてからイギリスの団体ツアーが一気に上がった。弊社だけでも上がっているのに、全体的にも上がっていると思う。</li> <li>・あと、日本人の方が多いが、全体で5万8,000人ほどいらっしゃる中の16.4%がインバウンドの方である。そういう中で何かおもしろいものがある</li> </ul>

委員	れば。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントがあれば、それこそまたホテルが足らなくなる。</li>   <li>・ そういったことをしていただけるのが活性化になっている。弊社の宿泊部に意見を聞いたが、今、定期観光バスが廃止されている。あれがないと回るにも不便で、今は観光マップが行き方のマップになっていない。ここに何があるというのはわかるが、どうやって行くかという海外の方の質問が多い。スタッフも頑張っているが、そういったお問い合わせが多いということは、「あるぞマップ」ではなくて、ここには観光バスが定期で出ているとかタクシーに乗らないといけなとか、そういう細かなところを求めているらっしゃると思う。</li>   <li>・ 先日、プライベートで石川県の金沢に行ってきたが、3連休だったので特に人出がすごかった。バスの定期便、1日500円の券があって、いろいろ乗れるとか、外ルート、内ルートみたいなことをされて、見やすくなっていた。</li>   <li>・ この系統で行くと姫路城から東ゾーンに行ける、こちらは西のゾーンに行けるというものがないといけな。観光客の方に泊まっていただけなのはそれがないからではないか。定期便だったり日本酒の酒蔵ツアーをエージェントさんごとにされているが、そういったところもバス会社と連携できないかなと思う。</li>   <li>・ 姫路には姫路城しかないと言われるのは、多分よくご存じない方だと思う。海外の方にはSNSが一番だが、姫路市でSNSに配信してもほぼ引っかからない。弊社の場合は年配の方が多いからかもしれないが、今はインターネット、SNSの時代だと言っても、姫路市はまだまだローカルだと感じている。いくら配信をかけてもクリック数が上がらないのが現状。そういったところで言うと、やはり目で見えるマークは必要になってくる。</li>   <li>・ 「明珍火箸」を見て「これは何ですか」と言われる。「お箸なの、何なの」って。「でも、あれってすごくいい音がするよね」というので、SNSで拡散されている。欧州、北米、オセアニアあたりですごく興味を持たれているようである。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あと、フランスにはお弁当という文化がない。サンドイッチを手に持っていくのはあるが、きれいな布に包んだお弁当というのがないので、海外の方にお弁当は受けがよい。</li> <li>・海外の方が行かれるところには、日本の方も行かれる。東にはないが、西には竜野城、赤穂城、忠臣蔵、塩田、あと揖保乃糸さんとか醤油見学とか、いろいろあるので、そちら経由のバスを増やしていただくと1日観光で、姫路出発、西に行っていっぱい見て姫路に帰りたいなことができるのではないか。</li> <li>・今度、姫路城ナイトファンタジアを11月9日からされると思うが、私どもの業界で言うと告知が遅過ぎて、エージェントさんへのプランに組み込めないのが正直なところである。できれば1年前、遅くとも半年前にあればエージェントさんへの組み込みができる。そうなる日本旅行、JTB、いろいろな旅行会社様で県外からの誘致ができる。弊社のリリースは遅くて大変だが、そういったものがスムーズに動くようになるとこちらの産業として大きいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的に年に6～7回東南アジアに仕事を兼ねて行く。考え方として、今は観光客を一くりにして考えているのでターゲットが見えてこない。例えばヤングなのかシニアなのか富裕層なのか。観光客が楽しくないとリピーターにならない。観光ばかりで、姫路城へ行って書写山へ行ってというのは疲れてしんどい。姫路城には1回行ったが、ほかに姫路におもしろいところ、楽しいところはないかなというのをターゲットの中に入れてほしい。姫路城は確かに姫路、播磨の目玉であるが、楽しいかといえば、夏に行けば暑いだけ。やはり「楽しい」というキーワードをぜひどこかに入れていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどデータを紹介されたが、今はビッグデータの時代なので、ツイッターとかSNSの意見を吸い上げることも大切である。観光の行動には属人性があり、年齢もあるし国もある。それをデータで科学的に分析することが重要で、感性だけでやるのは限界がある。ビッグデータをAIなどを使って分析した結果から、それぞれの人に合わせたメニューが出せるような仕組</li> </ul>

<p>分科会副会長</p>	<p>みを考えることが大事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所のほうも3年前からそういう認識で、姫路市と観光コンベンションビューローと話をし、まず委員が言われた現状分析と、委員が言われたターゲットをどこにするかを考えている。一方で現状の分析ができていないのも事実なので、今、ホテルさんの協力を得て、宿泊者がどこに泊まってどれぐらいのお金を落としているか、アンケートを取っている最中である。</li> <li>・一生懸命取り組んでいるのは事実であり、それには恒常的な組織が必要なので、DMOの設立に向けてお願いしている。今後、姫路市としてどこにターゲットを絞って、どんなお客さんと呼び、どんなメニューが提供できるか。広域観光も含めて、一番いいのはお金が落ちて姫路市の税収が上がることだろうが、そういった仕組みづくりを今からやっっていこうということである。</li> <li>・具体的な話はDMOの設立だが、観光の5年間の事業計画の中にDMOという言葉を入れて、姫路としても次世代産業として観光事業に本格的に取り組むという意思表示を総合計画の中でできれば大分違うのではないかと。せっかく姫路城があるのに、もどかしいという思いがあるので、それを含めてDMOを設立して、プラットフォームをつくり、それぞれのプレイヤーが有効に動くよう段取りができる組織ができれば一番よいと思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月21日に議会で臨時の経済観光委員会を開いて、DMOに関して触れるかもわからない。その日にまた議論があるので、傍聴に来ていただければと思うし、そういう戦略もしっかりと総合計画の中に入れていただければと思う。先ほどから出ている分析とかも含めて、あくまで観光戦略を補完するのではなく、総合計画でしっかりと触れていただくことを願う。</li> </ul>
<p>分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8ページの資料3-2「産業分野 政策2」が残っている。そちらについて事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、資料3-2、8ページをご用意ください。これは産業分野の商</li> </ul>

	<p>工業関連の政策案になるが、産業分野については分野構想自体が前回の会議のときに農林水産の政策のところまでしかご意見をいただいていたので、分野目標についてのご意見は何えていない。この政策案の説明をさせていただいた後、この政策案の意見を含めて分野目標についてまたご意見をいただきたい。</p>
分科会会長	<p>[説明資料] 資料3-2 活力ある商工業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業分野と商工業の部分の説明は以上である。</li> <li>・それでは、今ご説明いただいた政策の2、「活力ある商工業の振興」について、ご意見、ご質問等をお願いします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりのほうで、確かに新しい企業誘致も大切だが、浜手のほうに大きな工場がたくさんあり、その工場自体古くなっている。そこにいろいろな設備投資を行っていかなければならない。そういったところには国からの補助もあると思うが、CO2を多く排出する設備を新しいものに切りかえていくときには、市としても支援があるという形を取っていかないと、ものづくりのほうは高級化による差別化しか競争力が持てない。現時点で中国や韓国や東南アジアとの競争に勝とうと思うと、それしかないのが正直なところである。</li> <li>・特に日本製鉄さんは今度420億円の大きな電気炉をつくるというニュースが出ていたが、そういったところには環境も含めていいものができるよう、市のほうから補助があってもいいかなというところがある。</li> <li>・もう一つ、ここ数年、姫路市で起業する人とか倒産件数はどうなっているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、手元に資料がない。</li> <li>・先ほどの設備投資については、中小企業で投下資本の額が3,000万円以上であれば奨励金の対象になる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい企業が幾つか姫路にあるが、そういうところは地元の中小企業に</li> </ul>

	<p>も大きな影響を与える。そのあたりはちゃんと連携できるような仕組みがあるのか。オープンイノベーションをやるとか、大企業が音頭を取って中小企業を支援するような仕組みがこの地域にあるのかどうか。大きいところが頑張っでどんどん大きくなっても、裾野が広がらないとだめだと思うので、そのあたりをしっかりとやっていただきたい。系列だけでなく、もっとオープンにやっていく仕組みが要るのではないか。そうしないと新しいものは出てこない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県立大学の話が出たが、産官学に「金」まで入れた連携があつて、本学と商工会議所と姫路市と中播磨県民センターで連携しながら、地域の産業界の就職、技術力のアップとか、いろいろ活動をしている。</li> <li>・一つは、ものづくり支援センターを商工会議所の中に置いている。一方、じばさんびるには姫路市の協力のもと産学連携研究推進機構を置いている。そこで産学連携をやっているが、来られた人がワンストップで終わらない状況にある。幾つかの都市には産官学連携センターがあつて、1カ所でやっているという仕組みがある。ゆくゆくはそのようなことも考えないといけない。今度の文化コンベンションセンターをつくるときの最初の議論にはそういう話もあつたと思うが、それは今消えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回の分科会が終わった後ぐらいに、明石の泉市長がテレビに出て、他では人口が減っているが、明石は増えていると言った。なぜかといえば、子育て支援に金と人を集中すれば増えるということだった。特に若い人が暮らしやすいというので、明石の駅前にはぎわっているという。要するに子育て、人口に関する事で、人とお金を投入している。その辺は姫路市はどう考えているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちろん姫路市でも子育ての充実は、今非常に大事な施策の1つと考えている。明石市と違う点は、明石市は今、子育てに重点を置いて施策展開をして、人口が増えているが、その人口は神戸からの転入が多い。姫路市は周辺の7市8町と播磨圏域の連携中枢都市として頑張っていこうという中で、姫路市だけがそういう施策を打って周辺から姫路市に人口を集めてしまうことは、播磨圏域の連携中枢都市の考えと違う形になってしまうの</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>で、明石と同じようにはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ、最初に言ったように子育ては大事なことなので、そこにだけ力を入れて周辺から人を集めてしまうのではなく、それも充実させつつ播磨全体で頑張っていけるように、周辺部を巻き込んだ形で活力を生み出していくように進めていきたいと考えている。</li> <li>・このまちの産業の成り立ちが鉄鋼業中心という背景もある。私は姫路市内の高校で教育に携わっているが、若い人たちは多分、この地域にいたいけれども働きたい会社がないというのが率直なところと思う。</li> <li>・ハードの良いものはあるが、それが良いものだ伝わらない限り良いものとは認識されないというジレンマがあって、どうやってハード面だけでなくソフト面でこのまちの良さを発信していくか。そういった人の育成はすごく大事と思う。</li> <li>・中心市街地のいろいろな取り組みもあるが、将来をひっくるめてどう姫路の良さを伝え、発信していくのかという育成基盤がないといけない。正直、プレーヤーが圧倒的に少ない。同じ人がずっと繰り返しやっていて、疲れ果ててしまうみたいなことをすごく感じている。</li> <li>・どうやって新しい企業を創業する人を増やしていくのか。多分姫路の場合が多いほうだと思うが、一方、その人たちがどこへ出店するのかと考えたとき、確かに補助は出されていると思うが、中心市街地の大きなところで思い切った出店があるかと言えば、やはりないのではないかな。もっと出店しやすい、小商いをやれる方をどう増やすかという視点も大事になる。小商いをやる人が増えてくることが、恐らく地域の連携とかまちの連携を増やすことにつながっていくと思うし、そうすると、ソーシャルキャピタルが豊かになり、いろいろな副次的な効果がたくさんあると考える。そのため、圧倒的にプレイヤーが少ないことと、良いものがあってもそれをどう発信すればいいのかがよくわからないことが非常に多い。</li> <li>・逆に、先ほどのアニメの話ではないが、そういうソフト関係の、デザインしたり発信したりということを学べる機関が圧倒的に少ない。</li> <li>・人の育成という部分と、どうやって若い人たちが住みやすいまちにするのかという、8市8町が連携していくことも含めて、教育と強く関連して</li> </ul>
-----------	--

委員	<p>いるテーマだと思うので、産業だけで考えるのではなくて、教育をどう結びつけながら、どんな教育をやっていくのか。これから教育が大きく変わり始めている中で、親はこのまちで豊かな教育を受けられるようになってくるとだんだん変わってくると思う。学校の現場の先生方も教育だけでやるのではなくて、産業と経済と一緒に子どもたちを育てていくというのは大変おもしろいと思うので、そのあたりうまく行政と連携させていただけるといいなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それから、今度、京都の経済センターという、まさに今委員が言われた産官学連携、1個のビルの中に全ての団体とか会議所とかワンストップでやれる施設ができています。私が8市8町のいろんな団体を回ると、へとへとなる。そこで連携といってもやはり物理的な距離、心理的な距離がすごくあると思うので、まずは姫路だけでもいいから、しっかりと連携できるような拠点をどこかに設置できるとすばらしい。</li> <li>・今、不妊治療を受けている方の数がすごい。治療を受けに行くのも順番待ちで1日かかりである。福祉のどこかにお金と言われるのであれば、1回の不妊治療にどれだけかかるかと考えると、補助金があまりにも少な過ぎる。子どもが少ない、人口を増やしたいと言われるのであれば、つくりたくてもつくりたくない方がたくさんいるので、この問題とは別かもしれないが、そこの福祉のお金を増やしていただきたい。あまりにも補助金が少ないと思っている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長も「人に寄り添う市政」と言われている。今言われた意見やほかの分科会の議論も踏まえて、「人に寄り添う市政」というスタンスで総合計画をつくりたいと思っているので、意見として受けさせていただく。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に産業分野の分野目標だが、分野目標は政策を審議してからという話になっていた。こちらについては、5ページの右上を見ていただいて、これだけは意見をということがあれば承るし、それから、来年の1月にその中間報告があるが、それまでに私に一任いただくというか、我々のほうで検討させていただく方法もある。ご意見等があれば伺いたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日資料2で出していただいたように、前回発言させていただいて、きょうは商工業の話であったが、分野目標という形が一つで、産業をどう活性化するかだが、農林水産業と商工業は別個のものであって、それぞれ1、2という形で分けて書くべきだと前回も言ったと思う。そのあたり、今度はぜひ分けていただきたい。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私もそう思っている。今の分野目標はそこがはっきりしていなくて、ワンセットで書かれているが、多分市民の方が読んだときに、では中身は何なんだということが気になると思うので、そこは明確にさせたほうがよいのではないか。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は逆で、産業全般に関するところで、農林水産業、商工業、観光という形で分けておられるが、ここで例えば医療産業とか先ほど出たソフトとか、商工業者と一概にくくれない部分がある。例えば、弁護士さんとかいろいろなところがあるが、これも全部産業界の一員で今までされているし、商工業者、農林水産業者という形で、6次産業の横のつながりが当然ある。</li> <li>・今回は1つの産業振興という目標があって、その分野としての農林水産業とか商工業とかその他の産業とか、いろいろな分野がある。1つの大きな目標の中で、その中で付随する個別項目があるという形のほうが漏れがないような気がする。今後、医工連携とかいろいろ出てくる。既に取り組んでおられる話もある。そこは細かく言えば工業か商業か、どこかに入るのかもしれないが、新たな産業という意味からすると、全体を網羅する一言があって、それから個別の項目があってもいいと思う。</li> </ul>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この点はどうすればよろしいか。</li> </ul>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは分科会会長一任でよい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どう書くか分科会会長と事務局で検討いただいて、その結果を委員に送ってもらったらい。</li> </ul>

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ日にちがあるので。そういう方針でよろしいか。では、事務局と私のほうで考えさせていただく。</li> <li>・それでは、時間も予定より大分過ぎてしまった。きょうはいろいろご意見を承って、どうもありがとうございました。</li> <li>・それでは、これで第2分科会の第3回会議を終わる。最後に事務局から連絡事項をお願いする。</li> </ul>
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のスケジュールだが、令和2年1月21日の午後2時から、会場をホテル日航姫路に移して、第2回目の全体会議をさせていただく。そこで第2分科会の報告案をまとめて、分科会会長のほうから中間報告をしていただこうと考えている。</li> <li>・「#自称姫路市長」の取組について、委員に協力依頼。</li> </ul>
事務局	<p>5 閉会 (12:25)</p>